



にしきの つうしん  
**錦乃通信**

Mamiya J.H.S. School News

令和6年5月31日(金)

さいたま市立馬宮中学校

令和6年度 第3号

学校教育目標

未来を拓け ~自己の創造・生きる自信~

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation

・ Confidence to live~

## 「元気にする言葉」

校長 **上田 泰正**

校庭の木々の緑も一段と深まり、日に日に暑さを感じる季節になりました。

学校では、中間テストが終了し、3年生は5月26日(日)から28日(火)まで、奈良・京都の修学旅行を実施しました。また、今週末から始まる、さいたま市中学校学校総合体育大会や埼玉県吹奏楽連盟中央支部研究発表会に向け、運動部や吹奏楽部の生徒は一生懸命に練習に励んでいます。特に運動部は、県大会、関東大会、全国大会につながる重要な大会です。また、3年生にとっては最後の公式試合になります。

私は、生徒の皆さんが取り組んで来たそれぞれの思いを胸に「自分を信じて、友を信じて」精一杯の力を発揮することを期待しています。また、保護者の皆様におかれましては、生徒たちの頑張っている姿を褒めていただきたいと思います。

さて、6月は、さいたま市教育委員会が設定している「いじめ撲滅強化月間」です。市立の全小・中・中等教育・高等・特別支援学校において、いじめの問題について考え、いじめが起きない学校にしようとする意識を高めます。その中で、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む取組の充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取組を推進します。



さいたま市では、「心を潤す4つの言葉」で、「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」「ごめんなさい」を推進していますが、これらの言葉は、人と人とのコミュニケーションのはじまりで、元気を与える言葉だと思います。

また、昨年の8月4日に開催された、さいたま市子ども会議で決定した「心を元気にする4つの言葉」もあります。この「心を元気にする4つの言葉」は、あなたにとって、大切なみんなへ、みんなにとって、大切なあなたへということで、「大丈夫」「また明日」「自分を信じて」「ちょっとずつでいいよ」です。これらの言葉を言ってもらえると、元気になる言葉です。ぜひ、御家庭におかれましては、お子様が元気になり、やる気を起こす言葉を積極的に使ってみてください。